

公民館事業の報告

公民館名	事業区分	講座名
貫井南分館	成人教育事業	市民講座「親と実家と、私 家族に伝えたいエンディングノート作り」
		成人学校「大人のレザークラフト体験 スマホポーチをつくる」
東分館	成人教育事業	成人学校「温泉ぶらり旅のススメ」
		成人学校 子ども・子育て支援講座「夏休み親子工作教室 よく当たるゴムてっぼうを作ろう!」
	文化活動事業	利用団体のつどい「第39回東センターまつり」
緑分館	文化活動事業	利用団体のつどい「第35回緑センターまつり」
貫井北分館	委託事業者 独自事業	図書館・公民館連携事業「『選別』される社会～相模原事件をとおして＜問い・語る＞哲学対話 Part. 5～」

施設名	事業名	講座名
貫井南分館	成人教育事業	市民講座「親と実家と、私 家族に伝えたいエンディングノート作り」

目的・ねらい	親、家族、そして自分自身の老い支度を考える。 最後までに自分らしく生きるために、前向きな老い支度について、エンディングノート作りと「もしバナゲーム」で気持ちを実際に口に出すきっかけを学ぶ
--------	--

定員	20人	応募者数			28人	区分	実人数	区分	実人数
保育		参加費				小学生以下		東町	2人
受講者数 (延べ数)	20人	男	女	そのほか		小学生		梶野町	
		5人	15人			中学生		関野町	
対象者	市内在住・在勤・在学の方					15歳以上		緑町	1人
						20代		中町	3人
募集方法	市報、月刊こうみんかん、チラシ、ポスター、X					30代		前原町	4人
						40代	1人	本町	3人
受付方法	市申込フォーム・Eメール、往復はがき (先着順)					50代	4人	桜町	
						60代	8人	貫井北町	3人
実施場所	公民館貫井南分館学習室A・B					70代	3人	貫井南町	4人
						80代以上	4人	在勤・在学・不明	

回	日程			内容（実施場所等）	講師（肩書）
1	7月3日	金	10～12	「エンディングノート作り」（座学）	宮下こず枝さん（社会福祉士）
2					
3					
4					
5					

企画実行委員	鈴木、斎藤、持田、大下、	担当職員	永嶋
--------	--------------	------	----

参加者感想 (一部抜粋)	記入式資料があると夫や家族と話し合ったり、確認するツールとなります。「もしも…」について考え、意見を出し合える、他者の意見を知ることでも大切でした。ありがとうございます。 「もしバナゲーム」は面白かった。4人の中で立場、背景により色々違うことがわかり、感心した。
-----------------	--

企画実行委員・ 担当職員感想	エンディングノートに取り組む意義を学び、実際に記入する時間もあり、後回しにしないきっかけとなった。もしバナゲームでは自分と他者において価値観が明確に違うことを意見交換することで学ぶことができたようだった。
-------------------	--

施設名	事業名	講座名
貫井南分館	成人教育事業	成人学校「大人のレザークラフト体験 スマホポーチをつくる」

目的・ねらい	<p>市内で活動する講師を招き、ものづくりを通して地域コミュニケーションを図る。</p> <p>レザークラフトを通じて手仕事の魅力を体験する。</p> <p>一枚の革から革の製品になるまでの工程を学び、スマホポーチを制作する。</p>
--------	---

定員	10人	応募者数	30人	区分	実人数	区分	実人数
保育	なし	参加費	2,800円	小学生以下		東町	1人
受講者数 (延べ数)	10人	男	女	その他	小学生	梶野町	
	10人	1人	9人		中学生	関野町	
対象者	市内在住・在勤・在学の方	15歳以上				緑町	3人
		20代				中町	
募集方法	市報・月刊こうみんかん・チラシ	30代				前原町	2人
		40代				本町	1人
受付方法	市申込フォーム・Eメール	50代			3人	桜町	
		60代			4人	貫井北町	
実施場所	公民館貫井南分館 学習室AB	70代			3人	貫井南町	3人
		80代以上				市外（在勤・在学）	

回	日程			内容（実施場所等）	講師（肩書）
1	6月30日	火	10～12	スマホポーチをつくる	南由紀子さん（革工房主宰）
2					
3					
4					
5					

企画実行委員	山下・斎藤・持田	担当職員	永嶋
--------	----------	------	----

参加者感想 (一部抜粋)	<p>楽しかった。</p> <p>前からやってみたかったので楽しかった。</p>
-----------------	--

企画実行委員・ 担当職員感想	縫う箇所が多かったため、時間がかかる参加者もいたが、ほぼ全員完成することができた。
-------------------	---

施設名	事業名	講座名
東分館	成人教育事業	成人学校「温泉ぶらり旅のススメ」

目的・ねらい	現代社会は変化が激しく、また価値観の多様化、人間関係の希薄化などから心と体が休まることが少なく、その解消法のひとつに「温泉」で癒すことがある。そこで、この講座は「温泉」をテーマに、温泉の効能、入浴のポイント、温泉旅の楽しみ方などを専門家に学ぶ。
--------	--

定員	24人	応募者数	49人	区分	実人数	区分	実人数
保育	なし	参加費	なし	小学生未満		東町	8人
受講者数 (延べ数)	21人 (40人)	男	女	そのほか	小学生	梶野町	1人
		2人	19人		中学生	関野町	
対象者	市内在住・在住・在学の方	15歳以上				緑町	2人
		20代				中町	1人
募集方法	市報こがねい、月刊こうみんかん、ポスター・チラシ、市HP、東センターHP、東分館X	30代				前原町	2人
		40代			1人	本町	2人
受付方法	Eメール、LOGOフォーム、往復はがき	50代			3人	桜町	1人
		60代			10人	貫井北町	2人
実施場所	東分館集会室A・B	70代			5人	貫井南町	2人
		80代以上			2人	市外（在勤・在学）	

回	日程			内容（実施場所等）	講師（肩書）
1	7月14日	火	10~12	「美と健康の温泉選びと入り方」	石井宏子（温泉ビューティ研究家）
2	7月28日	火	10~12	「心も体も喜ぶ温泉旅の楽しみ方」	

企画実行委員	坪井、渡部	担当職員	鈴木
--------	-------	------	----

参加者感想 (一部抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・今回このような素晴らしい講演をありがとうございました。もともと石井先生のファンでしたので、お会いでき大変嬉しく思います。また機会がありましたら是非参加させていただきたく存じます。 ・石井先生の豊富な知識を伺って、とてもいろいろな温泉の楽しみ方を知ることが出来ました。参加させていただいてとても良かったです。
-----------------	---

企画実行委員・ 担当職員感想	・講師は大学で温泉療養学を教えていることから学術的な話も多く、またトラベルジャーナリストでもあることから全国の温泉地に詳しく、参加者アンケートからも良い講座になったのではないと思う。
-------------------	---

施設名	事業名	講座名
東分館	成人教育事業	成人学校 子ども・子育て支援講座「夏休み親子工作教室 よく当たるゴムてっぼうを作ろう!」

目的・ねらい	親子が互いに協力して作品を作ることで、家庭での新たな会話の機会作りを目的とする。工作の作業や、講師の作品に触れることで、子どもたちに「ものづくり」の楽しさを体感できる機会を設ける。
--------	--

定員	8組	応募者数	21組 49人	区分	実人数	区分	実人数
保育	なし	参加費	1キット500円	小学生未満	1人	東町	3人
受講者数 (延べ数)	8組 20人	男	女	そのほか	小学生	11人	梶野町
		14人	6人		中学生		関野町
対象者	市内在住・在学の小学生と保護者	15歳以上				緑町	5人
		20代				中町	2人
募集方法	市報こがねい、月刊こうみんかん、ポスター・チラシ、市HP、東センターHP、東分館X	30代			2人	前原町	3人
		40代			4人	本町	5人
受付方法	メール、往復はがき	50代				桜町	
		60代			1人	貫井北町	2人
実施場所	東分館集会室A・B	70代				貫井南町	
		不明			1人	市外（在勤・在学）	

回	日程			内容（実施場所等）	講師（肩書）
1	8月1日	土	14~16	ゴムてっぼうの工作と競技会	中村光児（日本ゴム銃射撃協会理事）

企画実行委員	小畑、小林、城戸	担当職員	浅香
--------	----------	------	----

参加者感想 (一部抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・大人も少年の心を思い出す楽しい時間でした。 ・不器用な私でも簡単に工作でき、試合形式で打ったのも楽しかったです。 ・ゴムてっぼうを作るときわくわくした。てっぼうを持って帰れるのがうれしい。 ・トーナメント戦楽しかったから、毎回やってほしい。
-----------------	--

企画実行委員・ 担当職員感想	・普段、公民館講座に参加が少ない男性の保護者の参加が多かった。講座だけでなく、自宅に帰ってから親子で楽しむツールになるところが、ゴムてっぼうの優れたところだと思う。
-------------------	--

施設名	事業名	講座名
東分館	文化活動事業	利用団体のつどい「第39回東センターまつり」

目的・ねらい	東分館の利用団体が日頃の活動成果を発表する機会を提供するとともに、市民交流を図るために東センターまつりを実施する。
--------	---

定員		応募者数		区分	実人数	区分	実人数
保育		参加費		小学生以下		東町	
受講者数 (延べ数)	約700人	男	女	そのほか	小学生	梶野町	
					中学生	関野町	
対象者	どなたでも	15歳以上				緑町	
		20代				中町	
募集方法	市報7月1日号、月刊こうみんかん7月号、市HP、東センターHP、東分館X、ポスター、チラシ	30代				前原町	
		40代				本町	
受付方法	主催イベント（先着順）	50代				桜町	
		60代				貫井北町	
実施場所	東分館	70代				貫井南町	
		80代以上				市外（在勤・在学）	

回	日程			内容（実施場所等）	講師（肩書）
1	7月4日	土	10～17	展示・舞台・模擬店・主催イベント（コンサート）	
2	7月5日	日	10～15	展示・舞台・模擬店・主催イベント（ポッチャ）	
3					
4					
5					

企画実行委員	小畑、城戸、小林、坪井、舟川、渡部	担当職員	鈴木、浅香、坂根
--------	-------------------	------	----------

参加者感想 (一部抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・発表も展示も皆さんお仲間楽しく活動している様子が伝わってきました。 ・鉄道模型の部屋で、子どもたちが喜んで参加している様子がとても微笑ましく感じました。 ・ストラディバリウスのヴァイオリンの演奏が素晴らしかったです。心まで響く音に感銘しました。
-----------------	---

企画実行委員・ 担当職員感想	「利用団体のつどい」として参加団体及び公民館が連携した2日間であった。2日目は降雨もあり、やや来館者が伸び悩んだが、大過なく盛況裡に終了することができた。
-------------------	---

施設名	事業名	講座名
緑分館	文化活動事業	利用団体のつどい「第35回緑センターまつり」

目的・ねらい	公民館緑分館の利用団体が年に一度、一堂に会し、日頃の活動成果を発表しあい、サークル相互の親睦および地域住民との交流を深める。
--------	--

定員	なし	応募者数	なし	区分	実人数	区分	実人数
保育	なし	参加費	なし	小学生以下		東町	
来館者数 (延べ数)	282人	男	女	そのほか	小学生	梶野町	
					中学生	関野町	
対象者	どなたでも			15歳以上		緑町	
				20代		中町	
募集方法	市報、月刊こうみんかん、チラシ、ポスター、市HP、緑センターHP、緑センターX、緑小・緑中全生徒にチラシ配布			30代		前原町	
				40代		本町	
受付方法				50代		桜町	
				60代		貫井北町	
実施場所	公民館緑分館			70代		貫井南町	
				80代以上		市外（在勤・在学）	

回	日程			内容（実施場所等）	講師（肩書）
1	6月20日	土	10～11	オープニングイベント：吹奏楽演奏	亜細亜大学吹奏楽団
2	6月20日	土	10～16	展示：縄文ワークショップ、絵画、小金井桜写真、陶芸作品、折紙作品 発表：ウクレレ、和太鼓、クラシック演奏、合唱、カラオケ 模擬店：焼菓子、陶芸作品販売	
3	6月21日	日	10～11:30	特別イベント：アフリカンドラムとジャズピアノの演奏とアフリカンドラム体験	共音創
4	6月21日	日	10～15:30	展示：縄文ワークショップ、絵画、小金井桜写真、陶芸作品、折紙作品 発表：ハーモニカ、オカリナ・リコーダー、朗読、尺八 模擬店：焼菓子・総菜パン、陶芸作品販売	

企画実行委員	植竹、大蔵、川上、後藤、寺沢、宮本	担当職員	倉本、原田、大津、小畑
--------	-------------------	------	-------------

参加者感想 (一部抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・亜細亜大学の若い皆様の演奏がすばらしく、感激して涙ができました。サマーコンサートも楽しみです。学生の皆様、ありがとうございました。 ・アフリカンドラムの演奏を初めて聞きました。パワフルかつせんさいで、魂の響き、リズムを感じました。ジャズピアノとの共奏、とても素敵でした。これからもご活躍下さい。 ・日頃の練習の発表で皆さんの頑張りが素晴らしい。いつまでも元気で続けてください。 ・楽しい音楽の演奏や展示物など皆様の作品をみることで良かったです。 ・子どもも楽しんでいました。
-----------------	--

企画実行委員・担当職員感想	<ul style="list-style-type: none"> ・多数のパネルの設置や後片付け、脚立を使つての作業をなくしたので、安全に準備や後片付けが出来て良かった。 ・イベントを鑑賞する際、イスをたがいちがい並べると見やすかった。 ・喫茶コーナーを作るなど、くつろぐスペースがあると良い。
---------------	--

施設名	事業名	講座名
貫井北分館	委託事業者独自事業	図書館・公民館連携事業「『選別』される社会～相模原事件をとおして＜問い・語る＞哲学対話 Part.5～」

目的・ねらい	平成26年7月26日未明、「相模原市障害者施設殺傷事件」が起きた。この事件の根底には「優性思想」「障害者福祉政策」「措置入院制度」など広範囲にわたる要素が内包されていた。講座開催日は事件発生からちょうど10年目を迎えた。本事件が風化してゆくことも考えられるため、主催講座を通じて再び対話の場を設定して、この10年間で「体感したこと、実行したこと、覚えておきたいこと、忘れてしまったこと」について語り合う。
--------	--

定員	20人	応募者数	25人	区分	実人数	区分	実人数
保育	なし	参加費	なし	小学生以下		東町	1人
受講者数 (延べ数)	23人	男	女	その他	小学生	梶野町	2人
	(23人)	6人	3人	14人	中学生	関野町	
対象者	どなたでも (市内在住・在勤・在学及び協定市の方優先)			15歳以上	1人	緑町	1人
				20代	1人	中町	
募集方法	カラーポスター・チラシ			30代	1人	前原町	
				40代	1人	本町	3人
受付方法	図書館貫井北分室窓口、電話、メール			50代		桜町	
				60代	3人	貫井北町	
実施場所	貫井北分館北町ホール			70代	3人	貫井南町	
				不明	13人	市外（在勤・在学）・不明	16人

回	日程			内容（実施場所等）	講師（肩書）
1	7月26日	日	14～14:30	講演「相模原事件と差別と力による支配」	島菌進さん（宗教学者）
2	7月26日	日	14:30～16:30	哲学対話	中畑邦夫さん（哲学教師）ほか

企画実行委員	-	担当職員	伊藤、田中、白鳥
--------	---	------	----------

参加者感想 (一部抜粋)	<p>・10年、というのが意味では「区切り」になりつつ、しかし痛みが時の中で過ぎ去らないような思いをかかえながら、その風化に抗うためのひとつの手段としてこの対話に参加できたことを意義深く感じます。</p> <p>・こうして集まって対話を続けていく事で、少なくとも参加した人達の気持ちや考えに変化が起きていると思っています。これからも絶やす事なく続けてほしい。</p>
-----------------	---

企画実行委員・担当職員感想	社会教育実習生1人も含め、さまざまな世代が、問いに対して、当事者、当事者家族、支援者などの立場で対話を重ね、問題を語りあう時間だった。課題として、参加者が多いと発言しにくい様子もあり、参加者それぞれが対話に参加いただくように少人数のグループでの開催も今後検討。
---------------	--